

合わせた平均価格が前年を上回ったものの、販売頭数の減少により売却額が前年より下回っております。

肉用牛全体では、交雑種の素牛以外は平均価格が下落しており、販売金額が昨年を下回る状況で推移しております。

次に水産部門について申し上げます。本年11月までの魚種別漁獲状況においては、たこ、こんぶは漁獲量が前年を大きく下回り、漁獲高が減少する厳しい結果となりましたが、秋さけにおいては漁獲量が日高管内の中でも特に高い伸びを示し、漁獲高も大きく上回っており、また、かれい、ほっき、シシャモにおいても、漁獲量が大きく上回ったことから、総漁獲高においては、前年を上回る状況で推移しております。

## 教育長行政報告

### 学校教育の推進状況について

1点目は、信頼される学校づくりについてであります。新型インフルエンザについてですが、10月14日以降、新冠小学校では学校閉鎖が1回4日間、学年閉鎖が3年5年、6年で各1回ずつ3日間、朝日小学校では学校閉鎖が2回6日間、新冠中学校では学校閉鎖が1回4日間、3年の学年閉鎖が1回2日間の休業となっておりま

す。各学校において、授業時数を確保するために、主な取組として新冠小学校、朝日小学校においては、3学期の始業日を早めて冬休みを2日間短縮し、さらに終業式、始業式の日も授業を行うなど、また、新冠中

学校においては、2学期の終業日を2日遅らせ冬休みを短縮するとともに、終業式、始業式の日も授業を行うこと、学年閉鎖によりさらに時数が不足している3年生は、冬休み中にさらに2回、午前中の授業を行うこととしております。

次に確かな学力の育成についてであります。その一つ目は、学力テストについてであります。日高管内は昨年までの単独最下位から、本年は下位グループとなり、全道との学力差も縮まりました。全道管内別の調査結果と本町の調査結果について比較しますと、小学校国語科ではやや低く、算数科ではほぼ同じで2教科を総合すると、全道の上位グループに位置する結果となりました。次に中学校についてですが、国語科A問題でやや低く、国語B・数学A・B問題については全道とほぼ同じ結果となり、2教科を総合すると全道の上位グループに位置する結果となったところであります。今後学力向上に向け、それぞれの学校の改善策の定着に向けて取り組みたいと思っております。

次に豊かな心身の育成についてであります。新冠小学校では10月23日に学習発表会が、朝日小学校では11月14日に学芸会が行われました。朝日小学校では、インフルエンザの影響で2度、学芸会が延期されましたが、当日は一人の欠席者もなく、児童81名全員による発表ができました。

新冠中学校では、10月2、3日、学校祭が行われ、第2日目では、今年もレ・コード館のステージで吹奏楽部の演奏と合唱コンクールが行われ、保護者、地域の方々の大きな感動を呼びました。

次に学校経営の改善・充実についてであります。一つ目は、9月18日と19日の両日、レ・コード館を主会場として開催された、第52回北海道中学校長会研究大会についてであります。全道各地の中学校から校長が約350名参集し、日々の教育実践や学校経営上の問題解決に向けて、研究協議が行われました。

全道規模の大会が新冠町で開催されることから、町としてもレ・コード館外壁に歓迎の横看板を掲示したり、広報へ掲載することで町民への周知を図り、大会の成功に向けてバックアップをしたところであります。参加者からは中学校の開かれた学校づくりの取組や、街で出会った子どもたちの元気な挨拶などに変良い印象をもたれたというお話をいただき、新冠町の取組が全道各地に発信されたものと考えております。

二つ目は、新冠町学校支援地域本部事業についてであります。地域全体で学校を支援し、地域ぐるみで子ども教育を推進すること取組に、既に学校環境整備や朝日小学校でのPTAによるスクールバス乗車指導など、ボランティア活動支援をいただいております。「まなボード」11月号で、あらためて町民の皆さまにこの事業についてお知らせしたところ、町民の方から早速ボランティア登録の申し出をいただくなど、高い関心を寄せていただきました。

### 認定子ども園開設に向けた取組について

まず、「施設建設」につきましては、プロポーザル方式により選定した設計業者と6回にわたる協議を経て、基本プラン計

画に基づき、概算事業費の算定を行っているところであり、現場を担当する保育士の意見を十分取り入れながら、子どもの目線に立ったプラン作りに重点を置いて、保育・教育の効果を十分に発揮できる施設となるよう、平成22年度当初予算計上に向け、関係機関と連携し取り組んでおります。

次に、「地域説明会の状況」についてであります。10月20日から22日までの3日間、美宇地域保育所、朝日地域保育所、レ・コード館の3会場において実施し、42名の出席がありました。説明会には、副町長、教育委員も出席し、「認定子ども園の概要」、「保育料の設定の考え方」、「通園バス対策」、「今後の予定」さらには「地域保育所」について担当者より説明し、質疑、ご意見をいただいたところであります。

内容としては、通園バスにおける児童への対応や、クラス編成等に関わるものであります。園児の募集を早期に行い、拠点方式により、子ども達の負担を軽減し、安心・安全運行に徹する事を説明してきたところであります。また、美宇地域保育所の存続の意見が出されましたが、これに対しては、これまで同様、平成23年の秋に翌年度の入所見込み児童数を見て判断することと説明しております。

### 文化・音楽事業に関わる取組について

1つ目は、出張レコードコンサートについてですが、北海道開拓の村での実施については、北海道新聞卓上四季において紹介されるなどレ・コード館の魅力についてPRがなされ、大きな成果を上げたところで

す。

二つ目は「レ・コード館リニューアル記念」に関わる取組についてであります。10月18日にノンノン・マリアによる弦楽四重奏コンサートを実施しましたが、クラシック音楽の魅力を広く伝える有意義なものとなりました。又、ミュージアム内のリニューアルとしてジャケットの紹介、展示室の様式替え、あるいは、レコードホルダーのジャケットの展示など職員自ら工夫し、魅力あるレ・コード館の充実を図ったところであります。

三つ目は、レ・コード館を拠点として活動している合唱団VOLの11月12日のコンサート、11月22日にはレ・コード館ジュニアジャズバンドが第3回目の定期演奏会、12月12日には、市民劇団ど・こーれの12回目の定期公演がそれぞれ行われ、活動の質の充実とともに、地域のふるさとネットワークづくりが着実に進んだと思えます。

四つ目として、レコード音楽に親しんでもらう目的で行っている、11月19日の町青年団体の「レコードとワインの夕べ」の開催、また、12月6日の「音の日」にちなんだあいあい荘・ゆーあい天馬・おうるの郷の福祉施設の出前レコードコンサートについては、若い人たちの創意工夫により大きな成果を上げたところであります。

## 条例

●新冠町営住宅管理条例の一部を改正する条例

# 平成22年町政懇談会を実施

1月7日共栄・東川地区を皮切に

地域のことやまちづくりなどについて、広く町民のみなさんのご意見をお伺いし、町政に反映させていくことを目的に「平成22年町政懇談会」を開催いたします。

日程は次のとおりとなっておりますので、ご近所お誘いあわせのうえ、多数参加されま

すようお知らせいたします。

## 平成22年 町政懇談会日程表

期 日	時 間 帯	会 場	対 象 地 区
1月7日 (木)	10:30 ~ 12:00	共栄生活館	共栄・東川
	13:00 ~ 15:00	美宇生活センター	美宇・新和 太陽・里平
1月8日 (金)	10:30 ~ 12:00	東泊津農村環境改善センター	西泊津・東泊津
	13:00 ~ 14:30	朝日農村環境改善センター	高江・朝日
	15:00 ~ 16:30	大狩部生活館	大狩部
1月12日 (火)	18:00 ~ 19:30	節婦生活館	節婦町
	10:30 ~ 12:00	明和生活センター	大富・万世・明和
	13:00 ~ 14:30	古岸生活館	緑丘・古岸
	15:00 ~ 16:30	泉生活館	泉・若園・新栄
18:00 ~ 19:30	役場 201 会議室	本町・中央町・北星 町・東町・夕日ヶ丘・ レ・コードの森	

みなさんの意見をまちづくりに  
反映させましよう